

恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会(第2回)会議録	
日時	平成29年10月18日(水曜日) 18:30～20:00
委員	6名(欠席2名)
事務局	5名
会場	恵庭市役所 3階 301・302会議室
《会議録》	
事務局	1. 開会 2. 挨拶 (1) 会長挨拶 (2) 保健福祉部長挨拶 3. 議事 (1) 計画に基づく事業の推進について 5月に確認致しました、評価方法、評価の流れに基づきまして、委員の皆さんに計画の17個の中項目を評価していただきまして、8月22日に市HPにて評価結果の公表を行っているところであります。 本日は、次年度の評価に向けて、評価方法と評価の流れをご検討いただきまして、平成30年度に向けてどのように進めて行くべきかをご審議いただきたいです。また、今回の行政の取り組み事項について、報告させていただきたいと思います。 本年、初めての取り組みということで、進めていただきました。事務局としては、委員の皆様より「評価方法」や「評価のながれ」についての改善点等の意見を伺い、修正を加えながら、来年度も同じ評価シートを使い、同様のスケジュールで進めたいと考えますが、その点につきまして、ご審議いただければと思います。 次に「2」の「今後の計画推進に向けた取り組みについて」であります。まず一点目は、評価結果に基づく対応としまして、「D 評価」となった部分について、事業内容の検証、「空白」項目の事業検討、新たな事業の検討を行います。続いて、関係団体等との連携による計画推進としまして、体育協会などとの連携により、多くの事業を進めて参ります。併せて、先ほど申し上げました「空白」項目の事業や新たな事業について検討を進めて参ります。 最後に「担当所管による評価結果の情報共有」としまして、本評価結果につきましては、関係所管で共有し、先程の評価結果に基づく対応の「D 評価」となった項目について、事業内容の検証、「空白」項目の事業検討、新たな事業の検討などを行い、30年度予算要求など事務を執り進めることと致します。 以上が議事1の説明と報告になりますが、この後「来年度の評価方法」等について、ご

会 長	審議をお願いします。 事務局より評価方法、評価の流れについて何かありますか。今年度については、初めてのことで、戸惑った部分もあるかと思いますが、これから今年の方法を基にして改善していけばいい方法になると思います。 皆さんに評価していただいた結果を送っていただいて、それを評価するという流れでしたが、再度審議会を開いて、委員で集まって評価をすれば期間を置かずに完結すると思いました。
A 委 員	今回の評価をする際に、各課で評価した資料しか情報がないため、所管課の評価に対して、正しいかどうかの評価になっている。それが、自分の視点(立場)から見たときの所管課の評価に対する評価ということになっているがよいのか。予算等も明記されていますので、どの事業にいくらかけているのか配分が分かれば、評価の値にあったわけですが、わからなかったので正当な評価はできませんでした。そのため、事業ごとにわかりやすく配分を載せていただけると、非常に評価がしやすいです。大まかに予算を載せられても評価が難しいと感じました。
B 委 員	同じく、お金の面では、どう評価していいかわからなかった。小項目ごとに、イメージでできるものとできないものがあり、評価が難しい。最初から何を評価するかわかっているならばその事業に注目していけるが、わからないまま、いきなり評価をするというのも難しく感じました。
事 務 局	全体の経費が大きすぎるため、細分化できないものもあります。個別にできるものについては、個別に予算を出していきたいと思います。事前に評価対象が分かればということもありましたので、来年は新たなサイクルでやっていきますので、当初からある程度この範疇に注目していただきたいと、お伝えしていきたいと思います。
C 委 員	ここの部分を重点的に評価してほしいと今年度の評価の説明の際に話がありましたので、来年度も今年のようにやりますと言われましたら、評価対象が分かっているので、その状況で2年程やってみないと、何が良くて何が悪いのかわからないと思います。そのため、次年度についても同じメンバーでやらせていただけたらと思います。
D 委 員	範囲が広いため、どこにポイントを当てて見ればいいのか絞り切れなかった。1回目ということで、次年度に向けてということであれば心の準備ができると思います。 来年度については、今年の割り振りをベースにして、委員の皆さんに評価していただ

事 務 局	き、先ほどの予算等の意見については、皆さんの審議しやすいような形にしていくよう見直しをしていきます。
会 長	次年度についても、今年の方法でいくということによろしいでしょうか。 ※各委員より賛成の旨回答 皆さんの意見を集約していただきまして、反映していただき、来年度については、基本的には今年と同じような方法をとらせていただきたいと思います。
事 務 局	来年度につきましても、年度終了後すぐに関係部署含めて評価シートの精査を行いたいと思います。また、5 月頃に今年と同じようなスケジュール感で進めさせていただきたいと思います。今回の評価結果については、HP上で広報されておりますが、12 月の議会でも報告させていただきたいと思います。
A 委 員	今後の推進に向けた取り組みについて、「D評価」と空白について、例えばですが、全く手を付けていないわけではないと思いますが、どのような形で「D評価」の理由を確認し、また、今後「D評価」にならないように指導するのか。
事 務 局	自分たちの課題は、自分たちで検討します。事業コード 46 番「学校部活動などへの専門指導者派遣支援」を見てください。この項目は、教育委員会が担当していますので、何かできないか検討をしていただくような形を考えております。
A 委 員	何年も「D評価」が続くことがあれば、活動を見直して、できないことがあれば項目の削除ということになるのですか。
事 務 局	できないから削るというのは厳しいと思います。できない部分は、市民アンケートなども含めて市の実態にそぐわないものについては、削る必要もあると思いますが、この先 5 年間については、できるだけ計画の推進については、項目に向けて何らかの事業を進めて行くというスタンスです。
A 委 員	「空白」については、どのような状況なのか。活動をしていないということか。「空白」になっていると、私たちも評価ができないので「空白」を無くしてほしい。
事 務 局	所管課と話し合い、来年度については評価していきたいと思います。 ※その他意見等無し (2) 市民スキー場の整備について

事務局

5月に行われました同審議会にて、ご報告させていただき、その後、整備に向け、資料のとおり取り組んでまいりましたので、ご報告致します。

最初に「市民スキー場検討会議」の設置についてであります。

スキー連盟など、市民スキー場を活動拠点とする団体、小中学校の代表など関係者にお集まりいただき「市民スキー場検討会議」を設置し、現地調査を含む7回の会議を実施したところであり、今後の整備を含め、運営について協議・検討をいただいたところであります。

その検討内容についてですが、「2 市民スキー場検討会議」のとおり、市民スキー場の安全な運営の確保及び利用促進に向け、現状と課題を踏まえ今後の在り方について、検討いただいたところです。

検討の結果、一点目はリフトの老朽化に伴う安全性確保の観点から平成29年度のスキー場の運営は休止とすること。

二点目にスキー連盟を始めとする各団体の活動拠点、また小中学校の学校授業の場として、長沼町と協議を行い活動拠点を「北長沼スキー場」とすることと致しました。

更に、広報・HPなどをとおして広く市民に周知することを確認したところであります。

最後に今後の整備についてであります。利用者の拡大を目指し、より活用しやすいスキー場とするため、「市民スキー場検討会議」のメンバーで現地調査などを行い、検討を重ねた結果、リフトのルートを道々側とすることや、初級・中級、それから上級コースというようなコース造成など、今年度中に実施設計を行い、多くの集客を得ることができるよう平成30年度中の施設のリニューアルを目指します。

こちらに議題につきましては、皆様方にご報告ということで報告させていただきますのでよろしくお願い致します。

（３）通年型屋外スポーツ施設について

このたび、「恵庭市運動・スポーツ推進計画」と「第5期総合計画前期基本計画」にあります「通年型屋外スポーツ施設の整備」について、審議会を代表してC委員が、市からは保健福祉部長、健康スポーツ課長の3名で視察を行いました。

最初に視察の概要ですが、「1視察の目的」については、記載のとおり、平成31年度の標記施設の建設着手に向け、平成29年度市の方向性を取り纏めるため、道外先進地における施設建設に向けた市民合意の形成から設置場所、施設規模等の決定、完成後の維持管理手法などを調査事項としております。

次に「視察期間」は、7月31日から8月2日までの3日間。先程申し上げたとおり、3

事務局

C 委 員	名で視察を行いました。「視察先」ですが、5月に開催しました「恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会」において確認している調査事項を踏まえまして、記載の選定要件のいずれかに合致する施設を選定し、記載の4施設の視察を行いました。 続いて視察の内容ですが、施設概要や管理運営方法のほか、整備に至った経緯や現状の課題などについて、各施設の状況を確認してきました。 各施設の調査結果などは、資料のとおりであります。また、比較できるよう、福住屋内運動広場の状況も掲載致しました。 それでは、「3のまとめ・審議会意見(案)」につきまして、C委員よりご報告願います。 同行させていただいた結果を、まとめましたので、ご審議いただければと思います。 最初に「施設の構造」についてですが、平成26年より開設している「福住屋内運動広場」の施設状況や利用実態を踏まえ、「相当程度」様々な運動・スポーツの練習場として、対応できる施設構造が必要と思われます。 次に「施設規模」ですが、大会等を開催するのではなく、練習場程度の規模として2,000～2500㎡とし、さらに「複数の団体が利用できること」ということで大きさを考えているということをお聞きました。 しかし、今回の視察で実際に2,000㎡を超える施設も見学してきましたが、1,200㎡程度(30m×40m)の施設でも「相当程度」様々な運動・スポーツの練習場に対応できることから、再検討が必要と思われます。 次に「施設の設置場所」ですが、今回の視察先では、体育施設を集約している場所や公共施設と隣接した場所に設置しており、トイレなどを共有しているほか、駐車場の併用、管理も一体で行うなど施設の建設費や維持管理経費を抑える工夫が見受けられました。このことから、設置場所を決定する際、そのような観点も取り入れる必要があるものと思われます。 また、場所については、新たに土地を取得するとなれば費用も発生しますので、市の遊休地などを活用するといったことも考え、決めていただきたいと思います。 次に「施設運用」です。今回の視察で特に私が感じたところです。各視察先で、日中、特に午前中の稼働率が低いという課題を担当者からお聞きました。時期や季節に左右される訳ではなく、本当に利用が無いとのことでした。せっかく、立派な施設を整備しても夕方から夜間に利用が集中し、他の時間帯は利用が無いということは、非常に残念なことです。 このことについては、視察中、部長や課長とも話をさせていただきましたが、整備する
-------	---

会 長 E 委 員 事 務 局	前から稼働率を高めるための施設運用を十分に検討してはどうかということです。 施設の特性上、運動・スポーツ以外の利用には限界があるものと思われますので、幼稚園や保育所、小中学校や高校、大学や専門学校の体育の授業(特に冬季は需要が出てくる)に活用することも視野に入れて検討を行うことも一つの選択肢ではないかと思っておりますので、稼働率を高める方策を考えた施設運用を行っていただきたいと思っております。 そしてもう一点、視察先で民間が建設し、市が管理運営している施設がありました。 現在、恵庭市でも「緑と語らいの広場」として、保健センターが民間施設に移転されるとお聞きしております。これだけの施設を整備するとなると建設費も大きな課題となることでしょうか、民間が設置した施設を市が使用するというのも一つの手法と検討していただけたらと思います。公設公営以外に民設公営等として、新たに検討項目に取り入れるべきと思われます。 また、整備後も民間と連携することにより、先ほどの稼働率の問題解消に何か良い案が生まれるかもしれません。整備だけではなく、運用を含めた視点での検討を行っていただきたいと思っております。 以上が審議会を代表して参加させていただきました視察に基づき、今年度「通年型屋外スポーツ施設の整備」に係る方向性を出すにあたっての審議会意見として、提案させていただきます。 C委員から報告いただいた審議会意見案につきまして、意見案を基に審議会でもまとめまして、審議会として報告致しますので、皆さんから意見等ございませんか。 総合体育館・福住屋内運動広場のような施設を、市の直営ではなく指定管理制度を取っていますから、もう少し上手に活用すれば、運営もかなり変わると思う。建てるということは、最終的には必要かもしれませんが、その経過として運営について検討していく必要があるのではないかと。 市民アンケートの結果、屋外競技が冬期間中に活動できない、屋内の施設に移動しても、学校開放の体育館でも飽和状態になることから、通年型の施設が要望されたと考えております。学校開放の体育館でも、少年団も活動しておりますし、学校の数も少なく、対応しきれていないため屋外競技の活動の場として考えているのかと思います。 まとめの中にもありますが、公共用地未利用地の活用とありますが、恵庭市公共施設等総合管理計画に基づき、とありますが実際に計画があり、市単独で公共施設を増やしていくことはできません。ですから、公募したり民間の資金を活用していくような形以外では公共施設は増やすことができません。この施設を建てるとなると、市でもまだ未
--	---

会 長	利用の土地がありますので、市の土地を長期に亘って民間に借用する代わりに、建ててもらい、新たに民間でやりたいものがあれば、付随してやっても良いと思います。市としては市民が冬場や夜間、日中に運動ができる施設を建てていただき、管理は市が行うという形を取らないと、これから公営の施設を作るには難しいかと思います。 通年型の施設が欲しいという要望に応え、先進地の視察に行っていました。その結果の報告は、事務局がおっしゃったように、公共施設等総合管理計画に基づいた方向で審議会の意見にしなければいけないと思います。それに基づいて作るか、まだ検討していくかの、方向性を決めて行かなければいけません。
事 務 局	今年度中に施設の方向性と取り纏めるということで、前回お話ししました通り、平成23年に基本構想を作っております。その基本構想に基づいて、視察に行ったのですが、渥美委員に報告をいただいたように、まずは構造・規模・設置場所・施設運用などを新たな視点を取り入れて、再度方向性を出していただいたらということで意見をいただいたのかなと思います。 当初と大きく違うのは、1,200 m²程の規模で考えているところです。また、公共用地の未利用地の民間による設置して、市が管理するという視点を踏まえて今後検討していただきたいです。
A 委 員	大きさは1,200 m²程でいいということでしたが、冬場と利用と、夏場の利用とでは、利用率はどのようにになっているのか。 年度の利用者数しか確認できませんでしたが、月ごとに大きな増減はなく平均的に利用があるとお聞きしております。
事 務 局	また、恵庭市にも、通年型に相当する福住屋内運動広場があります。その利用率をみると、夏場も冬場もある程度十分に活用されていると認識しています。 福住と同じような規模の施設ができて、それはただ利用する施設が1つ増えるということで屋外型の施設を作ることになると思うが、大きさを変化させるということで現段階では、検討すればいいのか。
A 委 員	今回いただいた意見としては、大きさは同じくらいになるかもしれませんが、1番は天井高が違ってくると思います。大きさが、2,000 m²～2,500 m²と固まってくると、建設費も上がりますので、大きさにはあまりとらわれない方が良くないかなと思っております。
事 務 局	恵庭市の将来の人口が、どのように変化していくのか。高齢化率などの関係性を考え

E 委 員	てその変化に応じて、施設を作ることが重要だと思います。 高齢者の運動の場所の確保ということも含めて作る施設ですので、冬場の路面が危ない状況でもウォーキングや、軽運動することを考えると必要であると思います。
会 長	恵庭市の人口の見通しですが、長期には少しずつは減少するものの、大きく減らない見通ししております。なお、65 歳以上の高齢化率が、26.3%ですが、2025 年で 30%に到達する見込みであります。それ以降については、高齢化率が変わらない状況が続きますので、恵まれております。ただ、今までは 65 歳～74 歳の前期高齢者が多かったのですが、2025 年になると、75 歳以上の後期高齢者が多くなってしまうと思います。ですが、若い人たちも恵庭市には残りますので、施設の利用人口は減らないと思います。
事 務 局	皆さんからいただきました意見をまとめていただきまして、その結果を再度委員に見ていただいて報告をするという形でよろしいでしょうか。
会 長	頂いた意見を踏まえまして資料にあるような形で、審議会からの意見としていただき、事務局で取りまとめさせていただくという形でよろしいでしょうか。
(各委員了承)	
事 務 局	4. その他
事 務 局	皆様にお配りしております、チラシですが、恵庭市体育協会が主催スポーツ講習会ということで 11/19(日)に市民会館 3 階中ホールで北海道で活動していらっしゃる車椅子ソフトボールの方とその指導者の方をお呼びしまして開催致します。運動スポーツ推進計画の中にも、「障がい者スポーツの普及・推進」というのもありますので、興味がある方につきましては、ご参加頂ければと思います。
事 務 局	なお、次回の会議につきましては、来年の 5 月に開催予定としております。開催が近づきましたら、またご連絡差し上げますので、ご承知置きください。
事 務 局	5. 閉会